

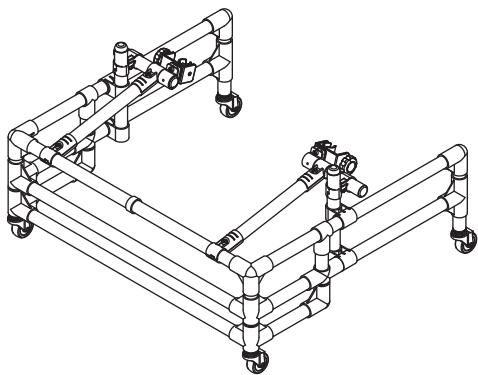
ファンガード®

取扱説明書

レッグタイプ

品番

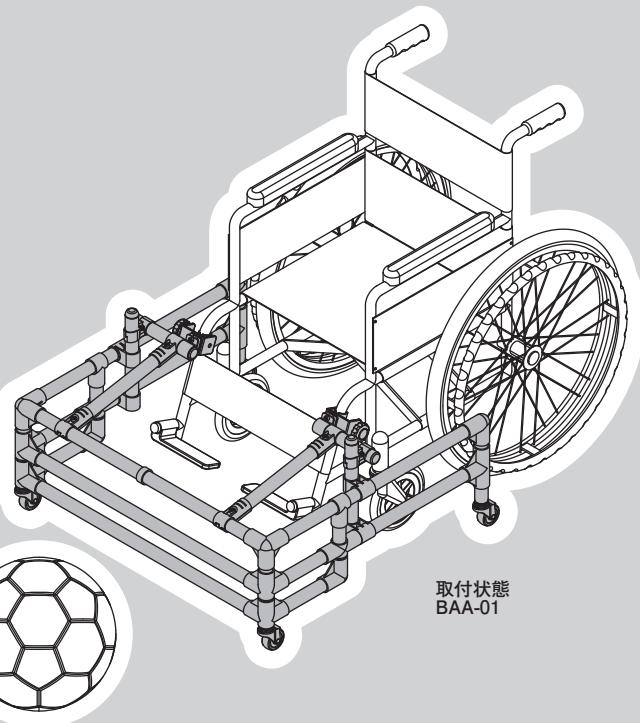
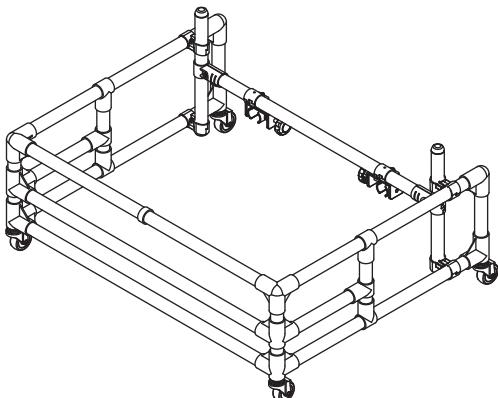
BAA-01



ベースタイプ

品番

BAA-02

取付状態
BAA-01

! 安全に関する表示	2
1. 使用上のご注意	2
2. 取付上のご注意	3
3. 仕様	4
4. 構成部品	4
5. 取付条件	5
6. 車椅子への取付手順 ..	6
7. 車椅子への取外し手順 ..	10
8. 点検	12
9. お手入れ方法	15
10. 保管方法	15

◎ファンガードをお買い上げありがとうございます。

ファンガードは、簡易型電動車椅子、または自走用車椅子に取り付けて車椅子サッカーを楽しむフットガードです。レッグパイプが本体と一緒に車椅子用の「レッグタイプ」、取外せて回転する車椅子用の「ベースタイプ」があります。支援者(介助者)の見守りのもと、安全に車椅子サッカーを楽しんでください。ご使用者様は、使用前にこの説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

! 安全に関する表示

※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	 禁止	してはいけない内容です。
⚠ 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

1. 使用上のご注意

⚠ 警告

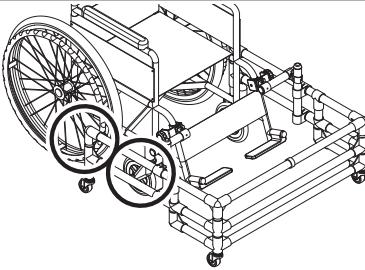
 禁止	●車椅子サッカー専用の保護ガード以外の用途で使用しない。 破損や事故のおそれがあります。
	●ファンガードの上に乗らない。 事故やケガをするおそれがあります。
	●ファンガードの隙間に手や足を入れない。 事故やケガをするおそれがあります。
	●ファンガードのキャスターの車輪ゴムが外れた状態で使用しない。 車椅子が転倒してケガをするおそれがあります。(「8. 点検」の点検項目を参照してください)
	●ファンガード同士を衝突させない。 破損や事故のおそれがあります。
	●競技用電動車椅子と一緒にサッカーをしない。 車椅子サッカーをする場合は、ファンガードを装着した車椅子同士で行ってください。
 必ず守る	●サッカーボールは車椅子サッカー専用ボール(直径 約32.5cm)を使用する。 小さいボールの場合はファンガードがボールに乗り上げたり、また、大きいボールの場合はボールがファンガードを乗り越えるなどして事故のおそれがあります。
	●ファンガードの不具合などで使用が困難になった場合は直ちに使用をやめる。 無理な使用を続けると車椅子がバランスを崩し転倒するおそれがあります。
	●巻末の点検項目に沿って、ご使用前に日常点検、また定期的に保守点検を行う。 「8. 点検」の点検項目を確認し、正常でない場合は、直ちに使用を止め、対処方法に従ってください。

⚠ 注意

 禁止	●ファンガードに強い衝撃を与えない。 車椅子同士で衝突させる、落下させるなどすると、破損や事故の原因になるおそれがあります。
	●ファンガードに物を乗せない。 車椅子が安定しなくなり転倒するおそれがあります。
	●使用の際は利用者の状態(安全に操作、使用ができる状態にあるか)を確認する。 利用者の健康状態や体調が変化した場合は直ちに使用を中止してください。
	●支援者や介助者が付き添うなど安全には十分な配慮をする。
	●脚がファンガードに触れないようにプレイする。 ファンガードに脚が当たってケガをするおそれがあります。 プレイ中に下腿が安定しなくレッグパイプや金具にあたることがある場合は、ベルトで下腿を固定することをお勧めします。
 必ず守る	●ファンガードが濡れた場合は水分をよく拭き取る。 濡れたまま放置するとカビや錆が発生するおそれがあります。
	●本取扱説明書は大切に保管する。 必要な時にすぐに参照できるよう大切に保管してください。

2. 取付上のご注意

⚠ 警告

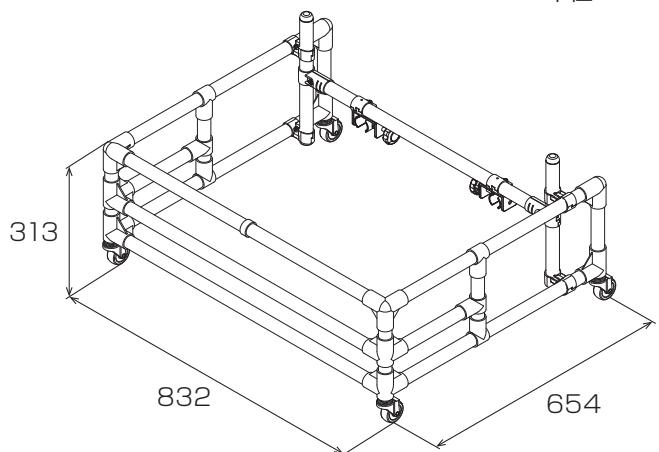
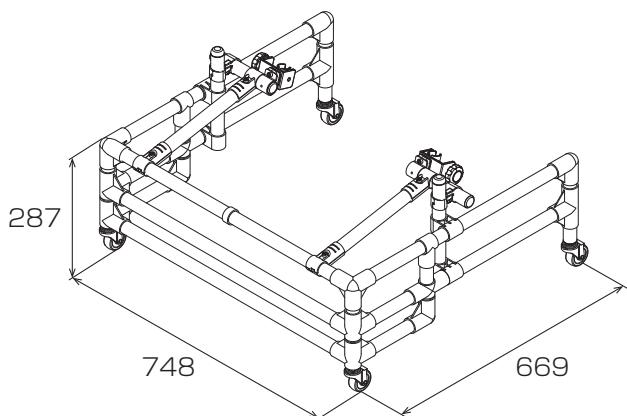
禁止	<ul style="list-style-type: none">●取扱説明書に記載されている取付方法以外の取付けや調整をしない。 事故の原因となるため、調整が必要な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。●改造・加工は絶対に行わない。 事故の原因となるおそれがあります。●段差や凸凹ある場所、傾斜では使用しない。(体育館での使用を推奨します) 事故や破損の原因となるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●取扱説明書に記載されている取付条件を確認してから取り付ける。 「3. 取付条件」に従って車椅子に取り付けてください。●車椅子への取付け・取外しは平らな場所で車椅子のブレーキをかけて行う。 事故の原因となるため、調整が必要な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。●四輪キャスターが床面に接地し、回転・旋回がスムーズにできるか確認する。 車椅子が不安定になり転倒するおそれがあります。
	<p>必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none">●車椅子の駆動輪(主輪)・ハンドリム、前輪キャスターが、 ファンガードに当たらないか確認する。
必ず守る	 <p>●取付後、ガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れのないことを確認する。</p>

⚠ 注意

禁止	<ul style="list-style-type: none">●指定締付けトルク値以上で締め付けない。 破損するおそれがあります。(「6. 車椅子への取付手順」で示すトルク値に従って締め付けてください。)●火のそばに置かない。 軟化または変形・破損するおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●使用前に取付状態を確認する。 固定ねじが正しく固定されて取付けられていることを確認してから使用してください。●湿気や直射日光の当たる場所を避け、水平な場所で常温の室内で保管する。 高温多湿の場所で保管しますと、変形・変色・錆の原因になります。
必ず守る	

3. 仕様

単位：mm

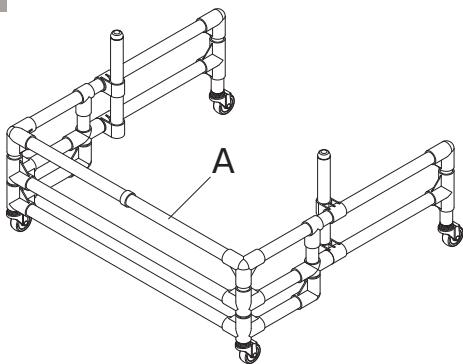


品名	ファンガード レッグタイプ
品番	BAA-01
質量	7kg

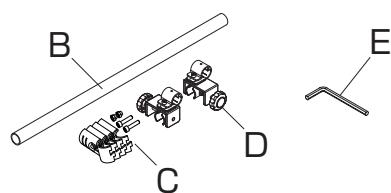
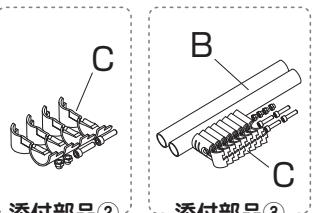
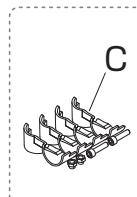
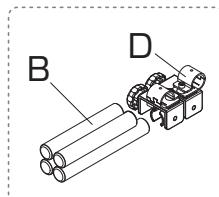
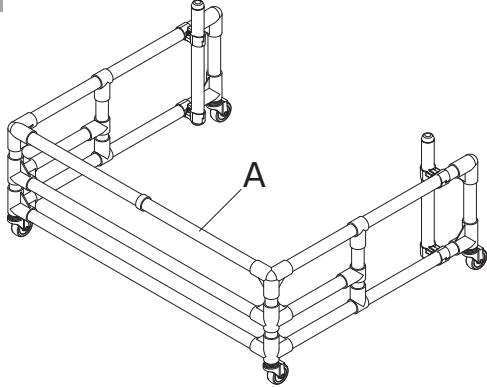
品名	ファンガード ベースタイプ
品番	BAA-02
質量	6.7kg

4. 構成部品

BAA-01



BAA-02



添付部品①

添付部品②

添付部品③

記号	部品名	材質	数量	
			BAA-01	BAA-02
A	ファンガードフレーム	プラスチック被覆スチールパイプ、プラスチックスチール、エラストマー樹脂	1台	1台
B	イレクターパイプ	プラスチック被覆スチールパイプ	6本	1本
C	メタルジョイント M6-25B ボルトナット	スチール（カチオン塗装）	H-1:8個、H-7:4個 ボルトナット:6組	H-1:4個 ボルトナット:2組
D	ファンガード金具	スチール（カチオン塗装）、樹脂、ゴム	R:1個、L:1個	R:1個、L:1個
E	六角レンチ (5mm)	スチール	1個	1個

5. 取付条件

ファンガードは、「レッグタイプ」と「ベースタイプ」の2種類があります。

ご使用の車椅子の仕様により、車椅子に取り付けることができるファンガードのタイプが決まります。
以下の取付箇所や取付範囲などの「ファンガード取付条件」をご確認ください。



レッグパイプのタイプを
ご確認ください。



レッグパイプが本体と
一体になっている車椅子
の場合は…

ファンガード
レッグタイプ

が取り付けできます。



レッグパイプが取り外し
できて、回転する車椅子
の場合は…

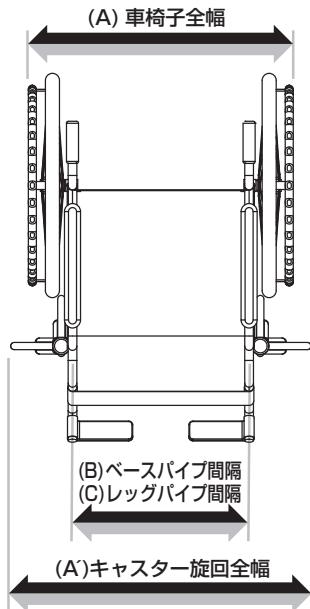
ファンガード
ベースタイプ

が取り付けできます。

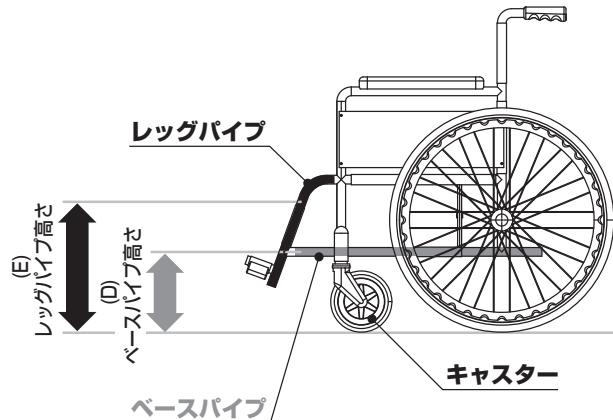


各寸法箇所をご確認ください

車椅子 上面図



車椅子 側面図



各寸法をご確認ください

ファンガード
レッグタイプ

下記の寸法の車椅子に取り付けできます。

※… (A)、(A')の寸法は、どちらも660mm以下であること

(A) 車椅子全幅 (A')キャスター旋回全幅	(C) レッグパイプ間隔	(E) レッグパイプ高さ	キャスター 車輪直径	取付パイプ径
* 660mm以下	320~440mm	230、300~350mm	φ158以下	φ18~φ26

注) キャスター車輪径φ 158mm 以下（座幅が広い仕様では車輪が大きい場合フレームに干渉することがあります）

注) レッグパイプが平行で長さ 40mm の金具が取り付けられること。曲げたパイプ箇所には取付けできません。



下記の寸法の車椅子に取り付けできます。

※… (A)、(A')の寸法は、どちらも680mm以下であること

(A) 車椅子全幅 (A')キャスター旋回全幅	(B) ベースパイプ間隔	(D) ベースパイプ高さ	取付パイプ径
* 680mm以下	360~520mm	80~400mm	φ18~φ26

注) 2本のベースパイプが平行で長さ 40mm の金具が取り付けられること。曲げたパイプ箇所には取付けできません。

6. 車椅子への取付手順



ファンガードレッグタイプの取付け



平らな場所で車椅子のブレーキを
掛けて作業をしてください。

1. 取り付ける前にレッグパイプの間隔の寸法を確認します。

寸法の測定箇所は「5. 取付条件 CHECK ② (C) レッグパイプ間隔 (P.5)」を参照ください。

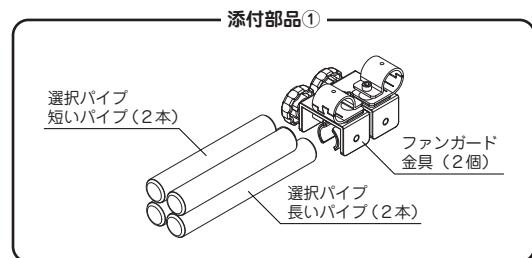
2. ファンガード金具にイレクターパイプを取り付けます。

添付部品①に長さの違うキャップがついたイレクターパイプが各2本あります。

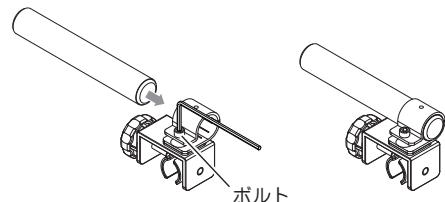
1で測定した寸法からイレクターパイプを選択してください。

※余ったイレクターパイプは組み立てに使用しません。

レッグパイプ間隔	選択パイプ
320 ~ 375mm	長いパイプ
380 ~ 440mm	短いパイプ

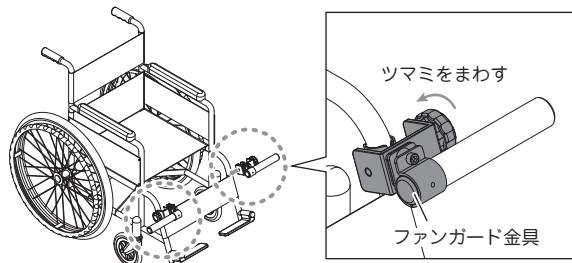
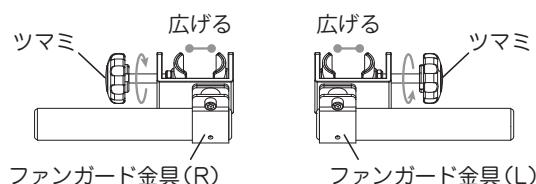


3. 六角レンチ (5mm) を使用してボルトをゆるめ、選択したイレクターパイプ2本を右図のように通してボルトを締めます。



4. ファンガード金具のツマミを回してクランプ部を広げ、クランプ部を車椅子のレッグパイプにはさんで固定します。

ツマミがレッグパイプの外側になるように取り付けます。

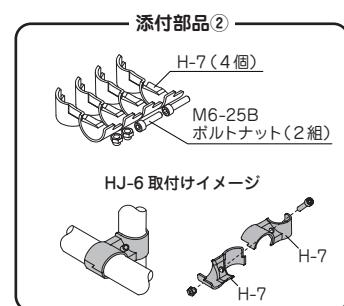
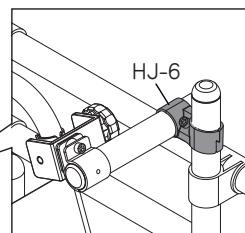
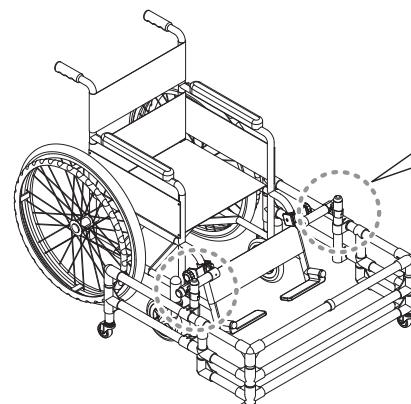
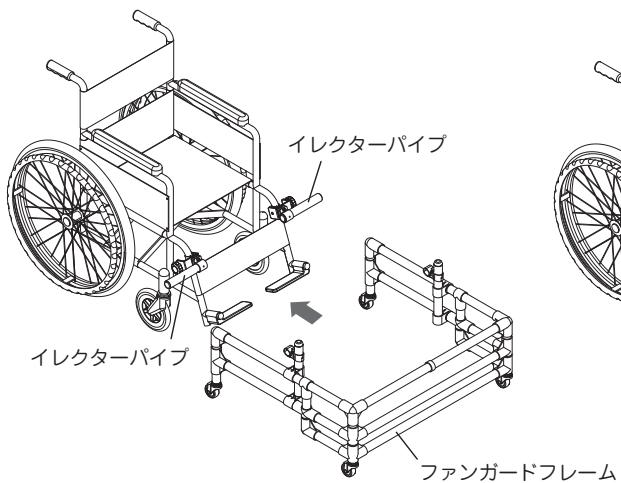


左右のファンガード金具の取付位置が水平になるようにしてください。

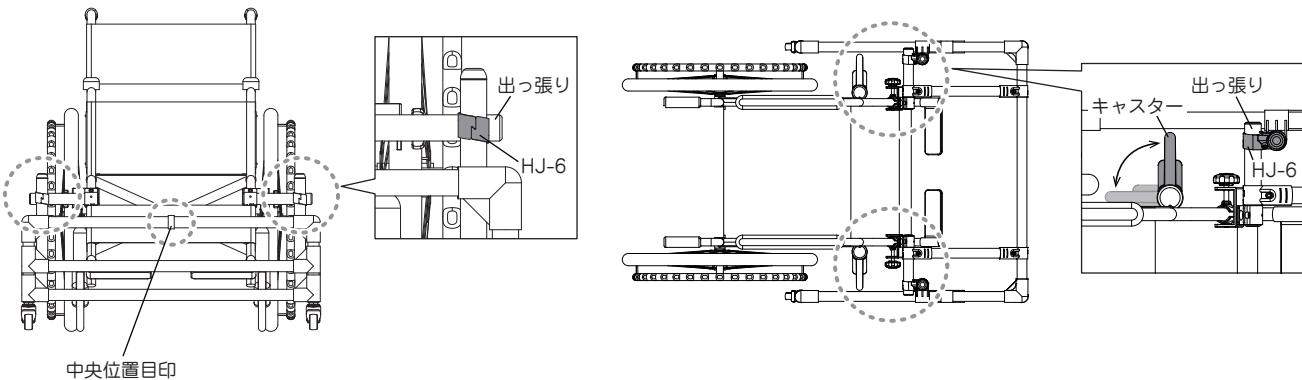
5. ファンガードフレームを取り付けます。

4で取り付けたイレクターパイプとファンガードフレームを連結します。

添付部品②のメタルジョイント (HJ-6) を使用します。



ファンガードフレームの中央位置目印を車椅子の中央に合わせて、左右の水平およびイレクターパイプの出っ張りやメタルジョイント(HJ-6)の位置が左右均等になっているかを確認してから六角レンチ(5mm)でボルトを締め付けてください。車椅子のキャスターがファンガードフレームに当たらないかを確認してください。

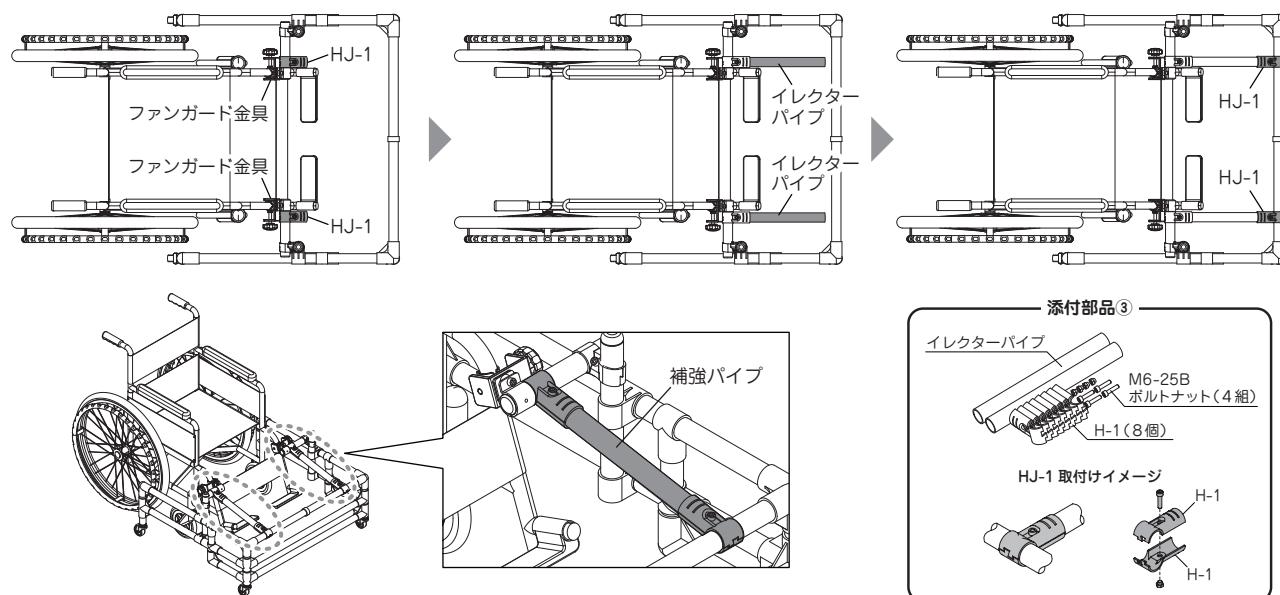


6. 補強パイプを取り付けます。

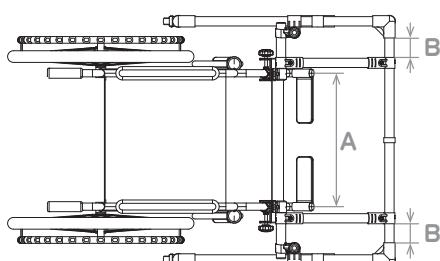
添付部品③のイレクターパイプとメタルジョイント(HJ-1)を使用します。

ファンガード金具の横にメタルジョイント(HJ-1)を仮締めして取り付けます。

仮締めしたメタルジョイント(HJ-1)にイレクターパイプをさし込み、反対側にもメタルジョイント(HJ-1)を取付けます。メタルジョイント(HJ-1)のボルト4箇所をしっかりと締め付けてゆるみがないことを確認してください。



メタルジョイントの取付位置



レッグパイプ間隔(A)	寸法(B)
440mm	38mm
420mm	48mm
400mm	58mm
380mm	68mm
360mm	78mm
340mm	88mm
320mm	98mm

⚠ 注意



●メタルジョイント同士がしっかりと噛み合っているかを確認して締め付けを行ってください。
メタルジョイントが噛み合っていない状態で締め付けますと変形・破損のおそれがあります。

必ず守る

●標準締め付けトルクを守って組み立ててください。
六角レンチ(5mm)の場合は 9.8N·m {100kgf·cm} です。

7. ファンガードのキャスター四輪が床に接地していることと車椅子のキャスターがファンガードフレームに当たらないかを確認してください。

ボルトにゆるみがある場合はしっかりと締め付けてください。

ファンガードベースタイプの取付け

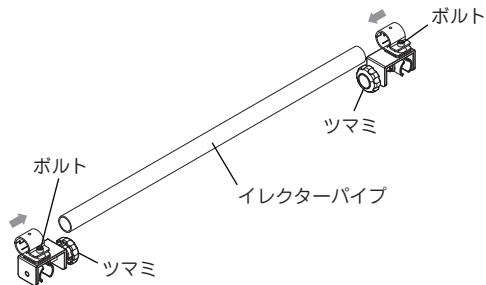


平らな場所で車椅子のブレーキを
掛けて作業をしてください。

1. 六角レンチ(5mm)を使用してボルトをゆるめて、イレクターパイプに
ファンガード金具を2個通します。

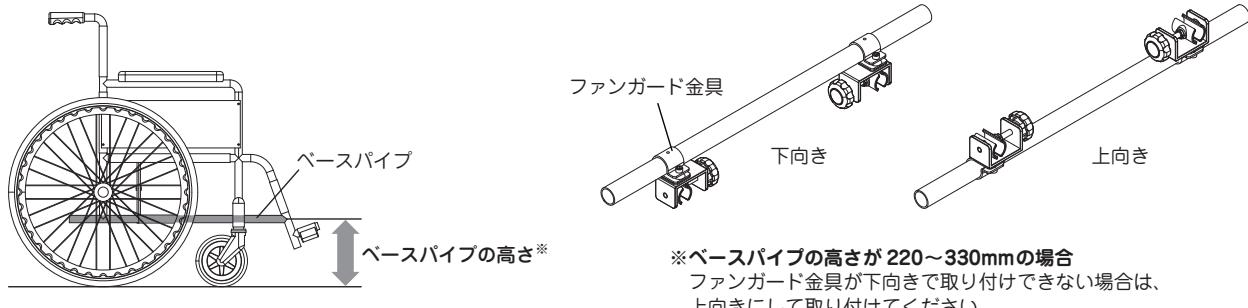
※イレクターパイプを通した後にボルトの締付けは行いません。

※ツマミが内側になるように取付け向きに注意してください。



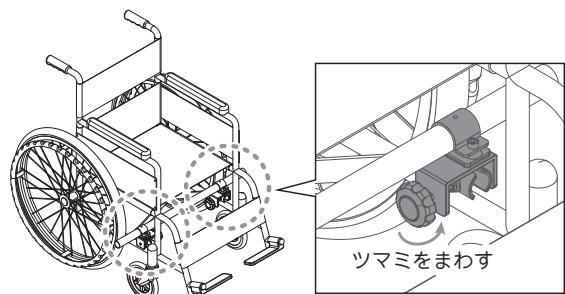
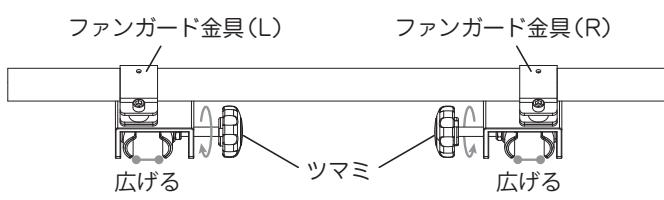
2. 車椅子のフレーム形状を確認し、ベースパイプに取り付ける位置を決めてください。

ファンガード金具を通した状態で車椅子のフレームに通せない場合は、先にファンガード金具を車椅子のフレームに
取り付けてからイレクターパイプをファンガード金具に通して取り付けてください。



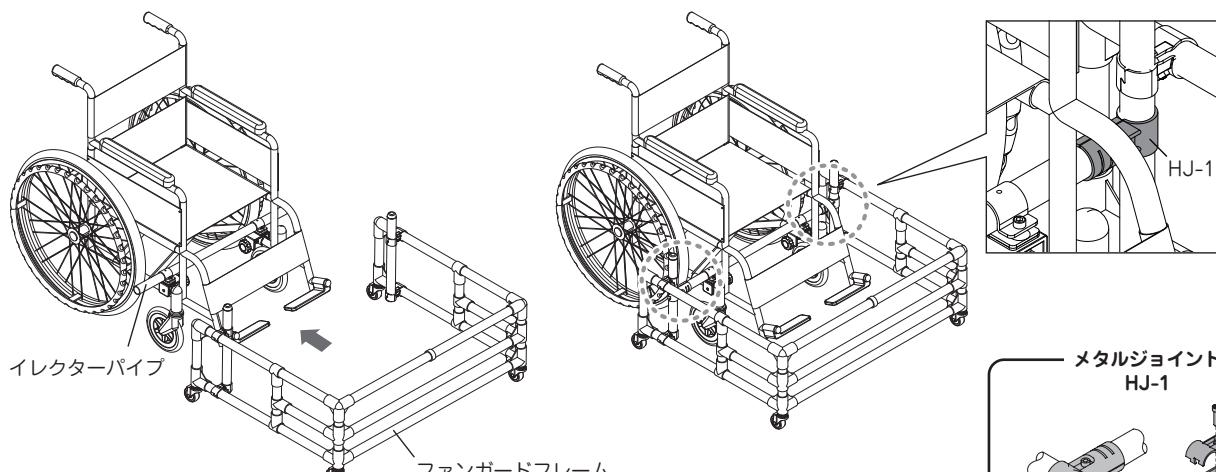
※ベースパイプの高さが220~330mmの場合
ファンガード金具が下向きで取り付けできない場合は、
上向きにして取り付けてください。

3. ファンガード金具のツマミを回してクランプ部を広げ、
クランプ部を車椅子のフレームにはさんで固定します。

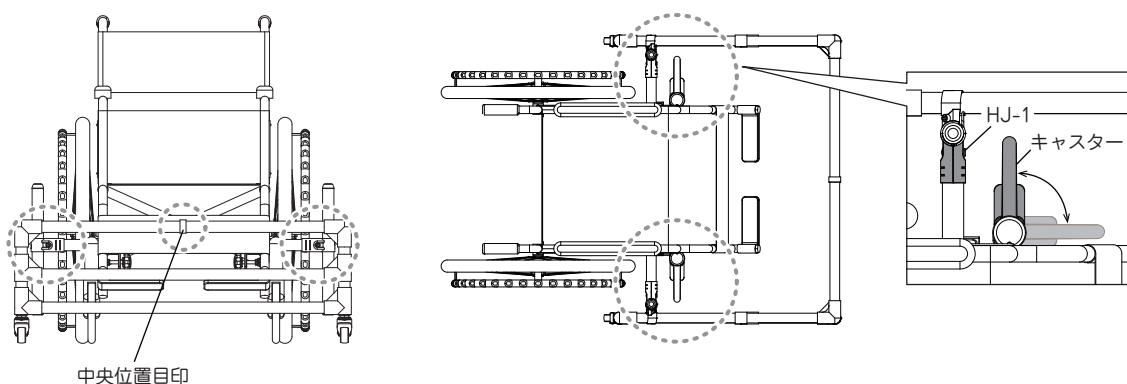


4. ファンガードフレームを取り付けます。

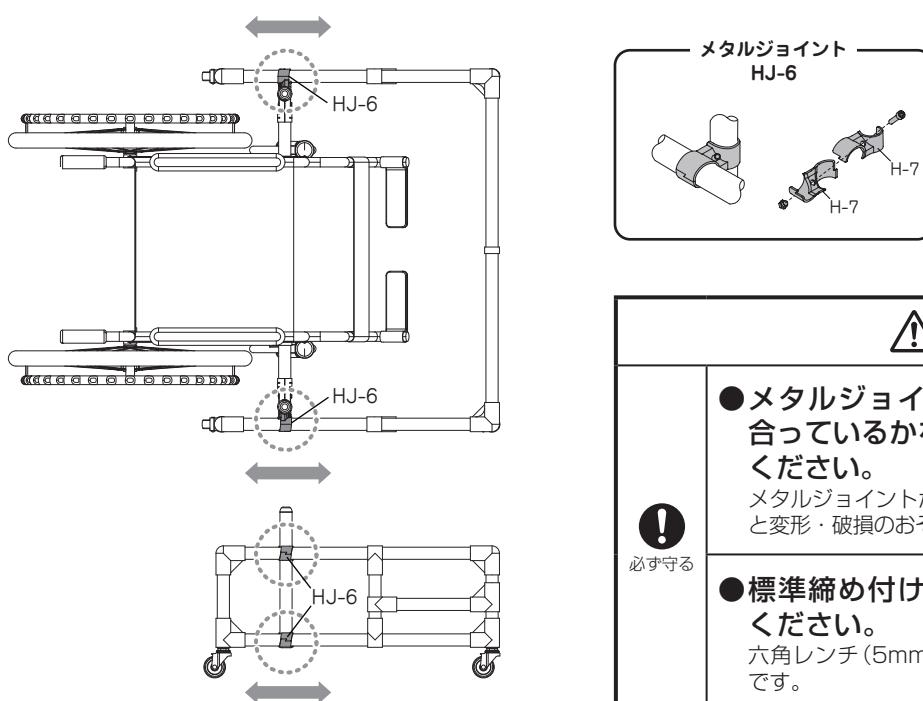
3で取り付けたイレクターパイプとファンガードフレームをメタルジョイント(HJ-1)で連結します。



ファンガードフレームの中央位置目印を車椅子の中央に合わせて、手順2で取り付けたファンガード金具を六角レンチ(5mm)でボルトを締め付けてください。
車椅子のキャスターがファンガードフレームに当たらないかを確認してください。



※ファンガードフレームの取付位置を前後移動したい場合
メタルジョイント(HJ-6)のボルトをゆるめて位置調整をしてください。



注意

- メタルジョイント同士がしっかりと噛み合っているかを確認して締め付けを行ってください。**
メタルジョイントが噛み合っていない状態で締め付けますと変形・破損のおそれがあります。
- 標準締め付けトルクを守って組み立ててください。**
六角レンチ(5mm)の場合は $9.8\text{N}\cdot\text{m}$ { $100\text{kgf}\cdot\text{cm}$ } です。

7. ファンガードのキャスター四輪が床に接地していることと車椅子のキャスターがファンガードフレームに当たらないかを確認してください。

ボルトにゆるみがある場合はしっかり締め付けてください。

メタルジョイントの取付け (HJ-1、HJ-6)



HJ-1
取付手順動画



HJ-6
取付手順動画

メタルジョイントの締付け目安

メタルジョイントのボルトの先端がナットの端面から 1mm 程度出た状態まで締め付けます



六角レンチ(5mm)

7. 車椅子からの取外し手順

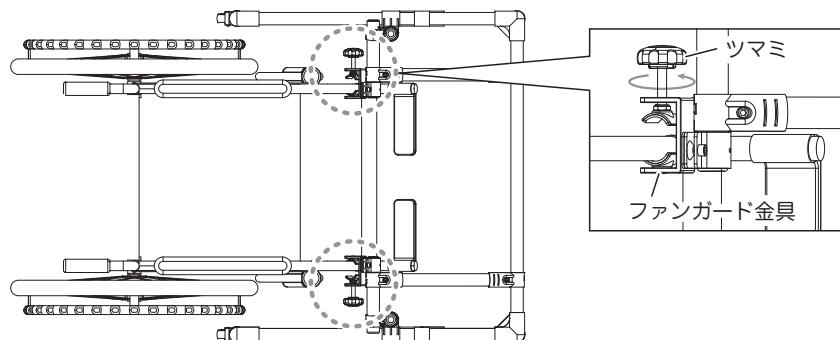


ファンガードレッグタイプの取外し



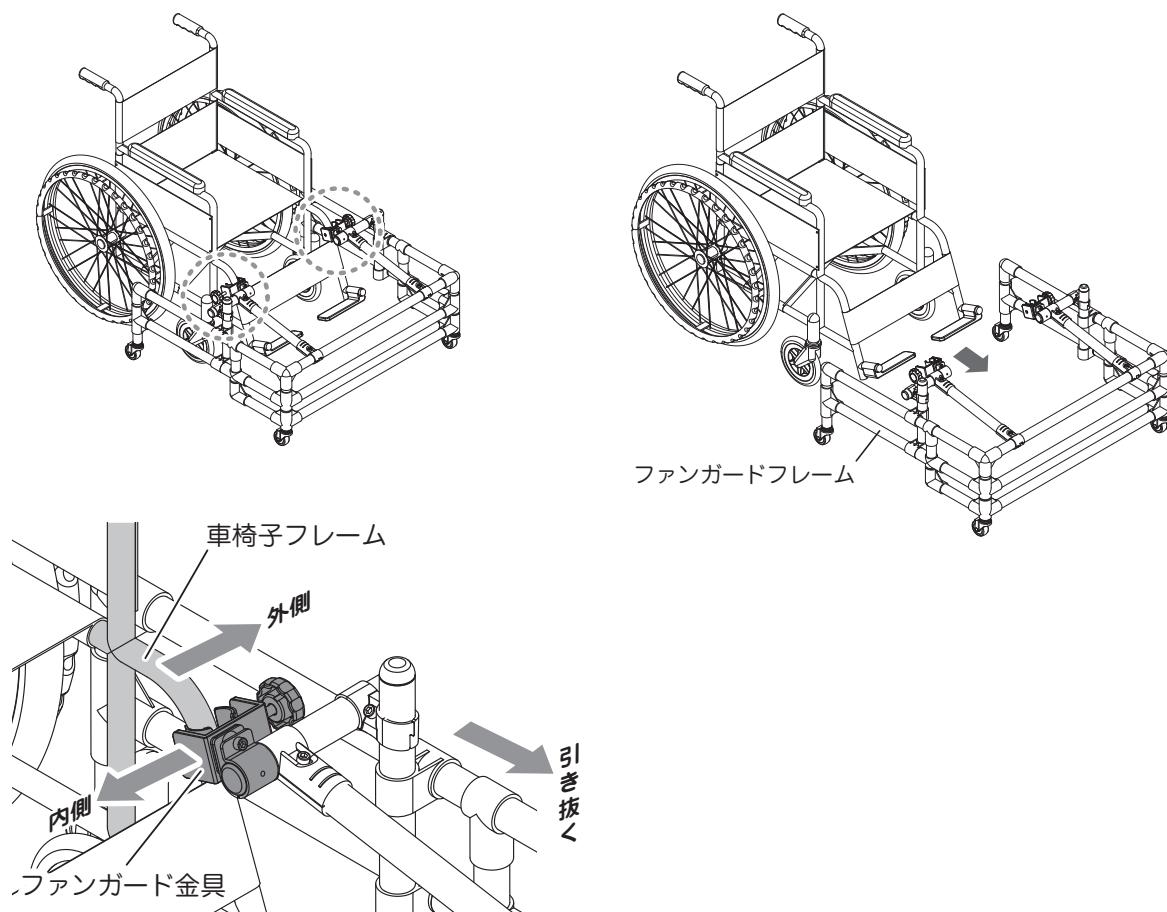
平らな場所で車椅子のブレーキを
掛けて作業をしてください。

1. ファンガード金具のツマミを回してクランプ部を広げます。



2. 矢印の方向（車椅子フレームを外側、ファンガード金具を内側）に軽く引っ張りながらファンガードを車椅子フレームから引き抜きます。

※レッグタイプは同じ車椅子に再度取付ける場合は、取外した状態のまま取付けられます。



⚠ 注意



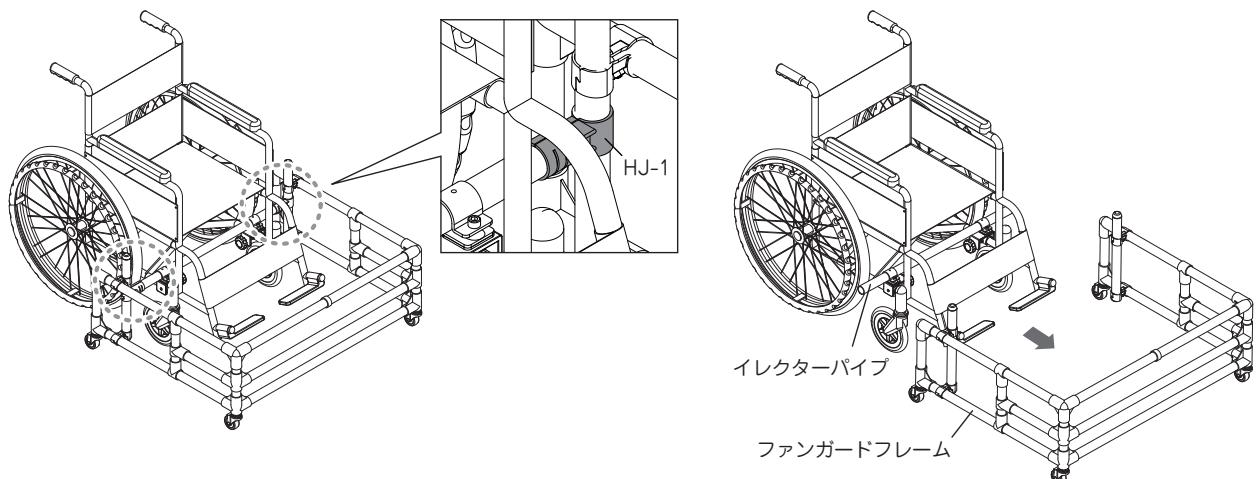
- レッグタイプを別の車椅子に取付ける場合は取外した状態のまま取付けない。
「6. 車椅子への取付手順 (P.6)」に従い、最初からファンガードを車椅子に取り付けてください。

ファンガードベースタイプの取外し

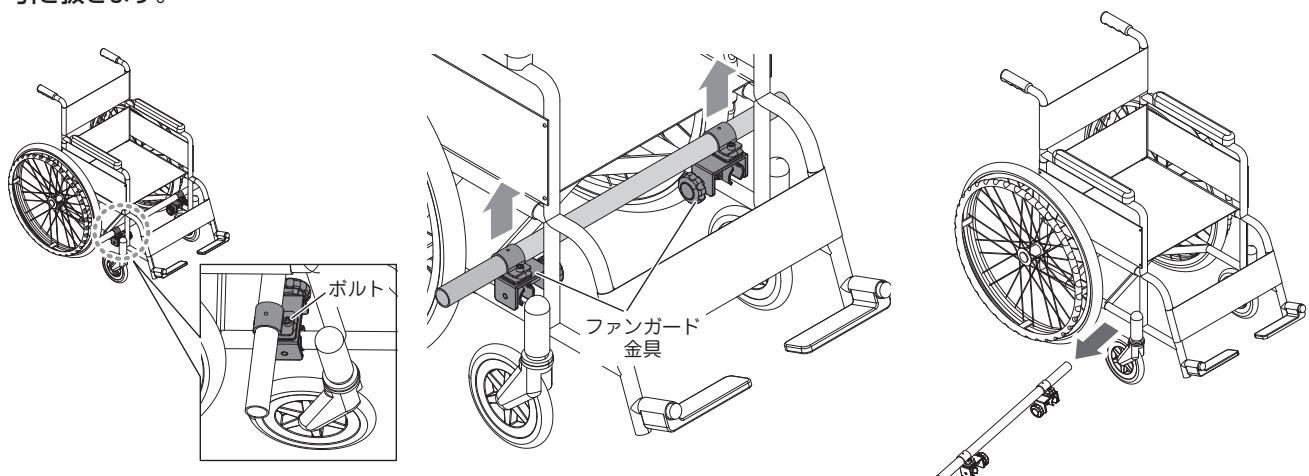


平らな場所で車椅子のブレーキを
掛けて取付をしてください。

1. イレクターパイプとファンガードフレームを連結したメタルジョイント (HJ-1) を外し、ファンガードを車椅子から外します。



2. 六角レンチ (5mm) を使ってどちらか一方のイレクターパイプを固定しているボルトをゆるめ、両側のファンガード金具のツマミを回してクランプ部を広げます。ボルトをゆるめた方のファンガード金具を外し、反対側のファンガード金具も外して引き抜きます。



キャスターのメンテナンス

キャスターがゆるんでいる、ガタつきがある場合

専用のパイプキャスタースパナ (EK-20) でボルトを締めます。

キャスターを交換する場合

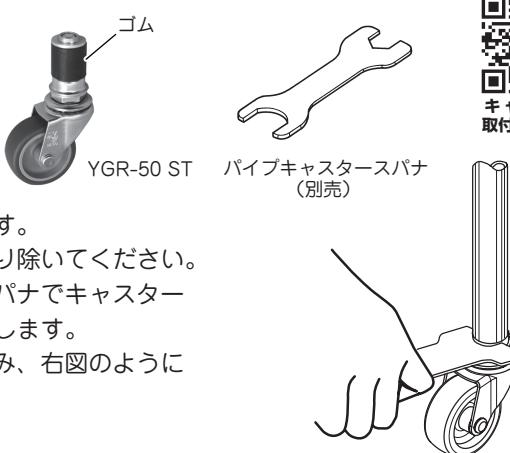
- 1) 専用のパイプキャスタースパナでボルトをゆるめ、引き抜きます。

※イレクターパイプ内にゴムが残った場合はドライバー等で取り除いてください。

- 2) イレクターパイプに差し込む前に、専用のパイプキャスタースパナでキャスターのボルトを締め、ゴム部分がパイプの内径に接するよう太くします。

- 3) ゴム部分を太くしたらいレクターパイプにキャスターを差し込み、右図のように専用のパイプキャスタースパナで締め付けます。

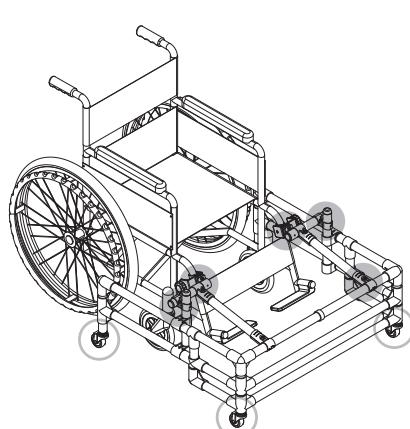
※イレクター専用接着液では接着できません。



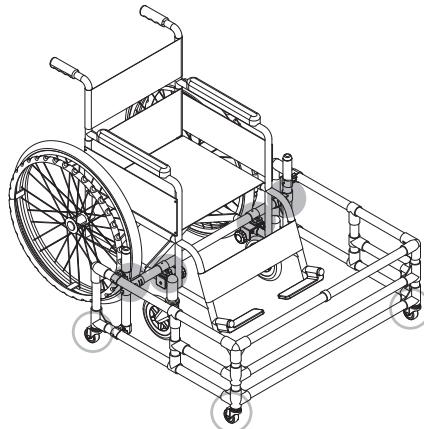
8. 点検

日常点検

- ご使用前に必ず日常点検を行ってください。
- 点検はご利用者様が車椅子に乗っていない状態で行ってください。
- 点検項目に従って点検を行い、対処方法に従ってください。



ファンガードベースタイプ

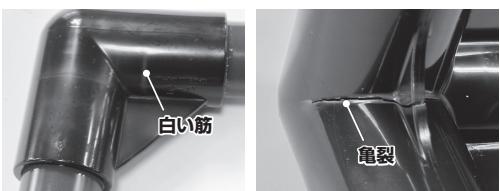
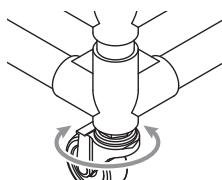
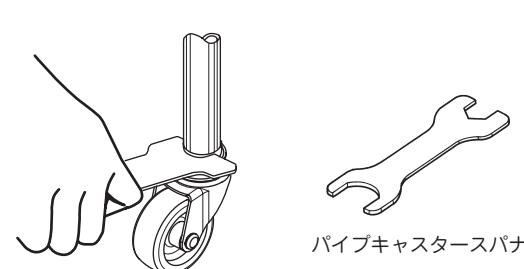


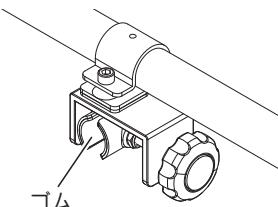
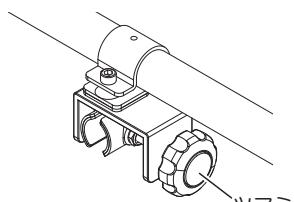
ファンガードレッグタイプ

● 取付金具の確認箇所
○ キャスターの確認箇所

正 常	異常はありません。 引き続きご使用していただけます。
調 整	調整が必要です。 記載されているページの説明をお読みください。
交 換	部品交換が必要です。 直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
故 障	故障しています。 直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

点検項目		対処方法
全体	• 四輪接地の確認 平らな場所で、四輪全てが接地しているか確認してください。	四輪接地している ガタつきがない 正 常
		四輪接地していない ガタつきがある 故 障
	• ファンガードからの異音の確認 ファンガードを動かした時に異音がしないか確認してください。 「6. 車椅子への取付手順 (P.6)」に従って取付けができるているかを確認してください。	異音はしない 正 常
		異音がする 音の発生源がわかる 6 ページ参照 調 整
		異音がする 音の発生源がわからない 故 障

点検項目		対処方法
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックジョイント確認 プラスチックジョイント部分に亀裂（白い筋）などの異常があるか確認してください。 	亀裂(白い筋)がない 正 常
		亀裂(白い筋)がある 故 障
	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンガードの変形・破損の確認 フレームが変形・破損していないか確認してください。 	変形・破損していない 正 常
		変形・破損していない 故 障
キャスター	<ul style="list-style-type: none"> ・キャスターの回転 キャスターを接地面から浮かした状態にして、手でキャスターを回したとき、キャスター及び旋回がスムーズに回るか確認してください。 	スムーズに回る 正 常
		スムーズに回らない 交 換
	<ul style="list-style-type: none"> ・車輪ゴムが外れていないか 車輪のゴム部に亀裂、破れ、外れがないことを確認してください。 	亀裂・破れ・外れがない 正 常
		亀裂・破れ・外れがある 交 換
	<ul style="list-style-type: none"> ・キャスター取付部の確認 キャスターのガタつき、抜けがないことを確認してください。 ゆるんでいる場合は、専用のキャスタースパナで必ず締め付けてからご使用ください。 	ガタつき・抜けがない 正 常
		ガタつき・抜けがある 調 整 9ページ参照

点検項目		対処方法	
取付金具	• 取付金具のねじ、ボルト確認 ファンガード金具、メタルジョイントを取り付けているボルトがゆるんでいないかを確認してください。 メタルジョイントがゆるんでいる場合は、六角レンチ(5mm)で必ず締め付けてからご使用ください。	ゆるんでいない	正常
		ゆるんでいる	調整
取付金具	• ファンガード金具の確認 ファンガード金具の取付調整時にねじがゆるまない、締め付けができるか確認してください。	ねじが回る	正常
		ねじが回らない	交換
取付金具	• ファンガード金具のゴムの確認 ファンガード金具に貼り付けているゴムのズレ、剥がれ、破れがないか確認してください。	ズレ・剥がれ・破れがない	正常
		ズレ・剥がれ・破れがある	交換
取付金具	• ファンガード金具のツマミの確認 ツマミがスムーズに回り、車椅子本体のパイプに締め付けられるか確認してください。	締め付けられる	正常
		締め付けられない	故障

※上記の確認をしても異常がある場合は、お買い上げ販売店にご相談ください

9. お手入れ方法

- 柔らかい布で乾拭き、または水拭きしてください。
金属たわし、研磨入りスポンジは表面に傷がつくので避けてください。
- 汚れが目立つ場合はうすめた中性洗剤を含ませた布で汚れを拭き取った後、水拭きしてください。
- その後は陰干しにて乾燥させてください。

⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● たわしや研磨剤入りのスポンジ、磨粉等は使用しない。 傷がつくおそれがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 塩素系洗剤・シンナー、ベンジン等は使用しない。 変色・変質・プラスチックの劣化や破損をまねきケガをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 直射日光は避けて、陰干しする。 色あせ・変質・変形の原因になるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● お手入れはファンガードを車椅子から外して行う。
	<ul style="list-style-type: none">● お手入れ後は必ず乾燥させる。 濡れたまま放置すると、錆が発生する原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● お手入れは定期的に行う。
	<ul style="list-style-type: none">● 定期点検（推奨点検期間 1カ月ごと）を行う。 推奨点検期間 1カ月ごとにガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損がないことをご確認ください。

10. 保管方法

- やわらかい布などで水気を拭き取り、直射日光を避け湿気のない場所に乾燥させて保管してください。
- ご使用後は清潔に保管してください。
- 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 湿気や直射日光の当たる場所を避け、水平な場所で常温の室内で保管する。 高温多湿の場所で保管しますと、変形・変色・錆の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 上に物を乗せず水平な場所で保管する。 変形するおそれがあります。

ファシガード®

※製品の仕様等は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿2-24-1

■ 北 海 道 支 店 福祉介護課
〒072-0007 北海道美唄市東6条北8-2-1
TEL 0126-63-4285

■ 神 奈 川 支 店 福祉介護課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木3-4
TEL 0463-81-4315

■ 九 州 支 店 福祉介護課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚481-1
TEL 0948-72-0310

■ 仙 台 支 店 福祉介護課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷280
TEL 022-382-2145

■ 名 古 屋 支 店 福祉介護課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池48-2
TEL 0568-67-0111

■ 関 東 支 店 福祉介護課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町88
TEL 0276-38-4562

■ 大 阪 支 店 福祉介護課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町5-1-1
TEL 072-672-8440

介護支援ページ
<https://www.kaigo-web.info/>



■ 東 京 支 店 福祉介護課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田1-38-3
TEL 04-2944-7113

■ 広 島 支 店 福祉介護課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前1-7-17
TEL 0829-36-1111

25012512

DW-323-01